

令和2年度第1回中空知定住自立圏共生ビジョン懇談会書面開催結果（2）

■意見集約 コロナ禍における各分野での取り組みや課題、その他広域的な課題

委員	意見等																
1	<p>(観光面について) 地域経済を支えていた観光消費が大きく落ち込み、どのように回復させていくかが大きな課題。当面は感染対策の取り組みを徹底させながら、移動可能な範囲からの観光需要を喚起させていくことが大切。</p>																
2	<p>令和2年はコロナ感染拡大により住民主体のサロンや運動教室等が相次いで中止となりました。当初市販のマスクを買えない方が多く、ボランティア有志で手づくりマスクを作成しました。生地の手配や、裁断・ミシン縫製・ゴム通しなど作業を分担し1400枚を超えました。地域の方（エリアサポーター）が声掛けをしながら高齢者宅を訪問し見守り活動を行いました。行動自粛が孤立に繋がり、虚弱に陥る可能性が増えます。感染に配慮しながら、サロンや運動教室を再開できるように関係機関と協力し普段の生活に戻れるように知恵を出し合いたいと考えます。</p>																
3	<p>新型コロナウイルス感染により、今までの当たり前が出来ず生活様式を、変えることが必然となってきております。これらに関する取り組みは、各自治体負担では困難性が強く、広域で取り組む事が必要と考えられます。医療・福祉などは絶対に必要ですが、中空知は、農業・酪農・工業など多種多様な産業があります。最近、自然災害も多く発生しており、「食の確保」も大切と考えます。人は、経済的に豊かであっても、食することが出来なければ、生存は困難と思います。今は、インターネットなどの流通が当たり前となっておりますが、もし、感染症拡大により流通が止まったり、災害により道路寸断など、今は、考えられませんが、その反面、色々な災害の出来事が必ずといって良いほど「観測史上一番とか、今までに経験した事が無いなど」の表現が、多く見受けられます。中空知10市町が一体となって、それぞれの地域で出来る事を研究して、食の加工ほか、あらゆる事を想定した「自治体の共同した取り組み」市・町民が、中空知に住んで良かったと思う、地域にしたいと思っております。他市町の先駆的な取り組みの模索は、どうでしょうか。</p>																
4	<p>社協活動は、地域住民との合意形成と連帯活動に支えられている中であって、以前のような活動ができず、大きな打撃となっています。一日も早い終息を願う限りです。</p>																
5	<p>現在勤務している処が老人福祉施設であり、今の現状において、利用者・職員並びに関係者で罹患した者はいませんが、利用者の方が自らの行動で感染するリスクは低く、職員及び外部からの来園者等が想定され、基本的な感染予防対策は勿論、施設内でのゾーニングや移動経路の限定など濃厚接触者を減少する対策及び感染者発生後の対応としてのゴミ分別、消毒や人員確保等の事後対策も含めた対応をしています。ですが感染予防の専門家と連携をとるまではいかず不安をかかえています。このことから事前対策のノウハウを地域で連携・共有できればと思います。個人の予防意識や各事業所・法人での対応だけでなく地域全体での予防対策を構築できればと考えます。（専門家・自治体・関係機関・各業界関係者を交えた専門協議会）</p>																
6	<p>社会福祉協議会はじめ関係団体等の各種事業、行事等の多くが開催中止や自粛せざるを得ない状況にあり、また開催できたとしてもソーシャルディスタンスなどに配慮しなければならないため、特に高齢者層どうしの交流の機会が大きく減少し、肉体的・精神的な健康の維持が懸念される。アフターコロナにおいては、外部との交流を避けてきた高齢者等を、再度行事等の場に足を運ばせるための工夫や仕掛けが必要になると考えられる。</p>																
7	<p>滝川市 教育関係での新型コロナウイルス感染症対策事業（主なもの）</p> <table border="1" data-bbox="439 1108 2119 1369"> <thead> <tr> <th>事業の名称</th> <th>事業の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症防止対策事業</td> <td>・扇風機設置（小中学校263台、滝川西高校33台） ・非接触赤外線体温計（小中学校、高校各2本）</td> </tr> <tr> <td>小中学校調理場空調設備設置事業</td> <td>第二小・東小・江陵中・江部乙小</td> </tr> <tr> <td>小中学校における感染症予防対策事業</td> <td>手洗い場等の蛇口ハンドル282個をレバー式に交換</td> </tr> <tr> <td>児童福祉施設等感染症予防対策事業</td> <td>蛇口ハンドル（学童クラブ68個等）をレバー式に交換</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザ予防接種助成事業</td> <td>生後6か月～高校3年生、妊婦の接種料金半額助成</td> </tr> <tr> <td>公立学校情報機器購入事業</td> <td>GIGAスクール構想の児童生徒へ1人1台端末を整備する事業に係る国からの定額補助への上乗せ</td> </tr> <tr> <td>家庭学習のための通信機器整備支援事業</td> <td>GIGAスクール構想の貸出用ルーター整備事業に係る国からの定額補助への上乗せ</td> </tr> </tbody> </table> <p>当面の課題と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時数の不足→長期休業期間における授業日の設定 ・学校行事・イベント→中止、入場制限、行先の変更、時間・規模の縮小 ・教職員に関する負担の増加→スクールサポートスタッフによる作業補助や一般事務補助 学習指導員による授業補助 <p>将来の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT環境の整備（端末を活用した授業体制の確立） 《課題》各家庭における通信環境の整備、教職員の指導方法習得 ・“密”を避けるための少人数学級の拡大 《課題》教員数不足、教室数不足 	事業の名称	事業の概要	新型コロナウイルス感染症防止対策事業	・扇風機設置（小中学校263台、滝川西高校33台） ・非接触赤外線体温計（小中学校、高校各2本）	小中学校調理場空調設備設置事業	第二小・東小・江陵中・江部乙小	小中学校における感染症予防対策事業	手洗い場等の蛇口ハンドル282個をレバー式に交換	児童福祉施設等感染症予防対策事業	蛇口ハンドル（学童クラブ68個等）をレバー式に交換	インフルエンザ予防接種助成事業	生後6か月～高校3年生、妊婦の接種料金半額助成	公立学校情報機器購入事業	GIGAスクール構想の児童生徒へ1人1台端末を整備する事業に係る国からの定額補助への上乗せ	家庭学習のための通信機器整備支援事業	GIGAスクール構想の貸出用ルーター整備事業に係る国からの定額補助への上乗せ
事業の名称	事業の概要																
新型コロナウイルス感染症防止対策事業	・扇風機設置（小中学校263台、滝川西高校33台） ・非接触赤外線体温計（小中学校、高校各2本）																
小中学校調理場空調設備設置事業	第二小・東小・江陵中・江部乙小																
小中学校における感染症予防対策事業	手洗い場等の蛇口ハンドル282個をレバー式に交換																
児童福祉施設等感染症予防対策事業	蛇口ハンドル（学童クラブ68個等）をレバー式に交換																
インフルエンザ予防接種助成事業	生後6か月～高校3年生、妊婦の接種料金半額助成																
公立学校情報機器購入事業	GIGAスクール構想の児童生徒へ1人1台端末を整備する事業に係る国からの定額補助への上乗せ																
家庭学習のための通信機器整備支援事業	GIGAスクール構想の貸出用ルーター整備事業に係る国からの定額補助への上乗せ																

委員	意見等
8	<p>砂川市に於いても、密集を避けられない事業は中止となりました。</p> <p>私の所属している公民館サークルは徐々に、Withコロナに立ち向かう対策をとりながら7月から活動再開となりました。</p> <p>活動停止の期間、仲間と会えない寂しさや30年以上も続けてきた趣味をストップしなければならないことで生活のリズムがすっかり狂い心身共に健康を維持していくことが限界でした。活動が再開するにあたり、医療関係者の方々を始め、行政機関の方々も必死に頑張ってくれています。人と人との繋がり（ソーシャル・ディスタンスを保ちながら）を大切に、自ら決め事を守り日夜ご苦労されている方々に感謝しながら活動させていただきます。</p> <p>何年も実施してきた社会教育事業である「生涯学習市民の集い いってみよう！ やってみよう！」も、新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集める形での開催は見送りました。しかし、「こんな時期、こんな世の中だから今出来ることを！」。それは、出題される問題を解きながら、生涯学習に取り組むきっかけとなるような新企画です。学校・保育園・幼稚園・公共施設・市の広報・生涯学習総合情報誌・市のホームページなどで配信し、家族・友達・職場等と相談したり聞いたり調べたりと次回の事業に繋がることを願っています。</p> <p>まだまだ、コロナとの戦いは続いて行くと思いますが、こんな時期、こんな世の中だから今出来ることを！ということを中心に留めて、今まで当たり前に出ていたことが出来なくなり、立ち止まって考えたこと、感じたことをアフターコロナで活かして行かなければならないと思います。戦争体験のない私たちに、不自由さを体験させてくれたことを教訓にすべきだと思います。</p>
9	<p>感染拡大は、滝川市の商工業者の事業活動に大きな影響を及ぼしています。サプライチェーンの滞りや大幅な売上減少など、観光飲食・運輸・製造業をはじめ多くの業種が影響を受け、当所としても事業者の融資等経営相談に積極的に取り組むとともに、国や道・市の給付金等の支援内容の周知・相談・申請サポートなどを実施、市と連携した飲食店応援プレミアムチケットや生活応援商品券事業等の経済対策に取り組んでいます。</p> <p>海外でのワクチン開発や接種が始まり、日本での早期の接種に期待するところですが、収束は見通せず、市内事業者の廃業等が懸念され、地域経済への影響も心配しているところです。</p> <p>こうした事情は、中空知定住自立圏のどこの市町でも同様と推察しますが、国や道の大規模な財政出動を要請し、感染対策をしっかり図りながら社会経済活動を継続していくこと、それぞれの立場でこの未曾有の危機を乗り越えることが重要と考えます。</p> <p>残念ながらこの11月末の中空知圏域の人口は10万人を割りました。今から60年前の昭和30年代には圏域人口が30万人を超え、活気あふれる地域でしたが、過去を羨んでも仕方ありません。コロナ禍によりテレワークやワーケーションなど地方への関心が高まっています。中空知定住自立圏それぞれの市町が、個性と魅力を磨き、連携・協力するところはしっかりやる。人口が少なくても住む人々が生き生きと幸せに暮らせる地域づくりが必要と考えます。</p>
10	<p>コロナ禍の影響により、当市企業の紳士服縫製工場が撤退、雇用者80名が職を失った。</p> <p>市内企業緊急アンケートを実施し、合同企業説明会の開催や再就職支援窓口を設置するなど様々な取り組みを進めている。</p> <p>人口減少に加え、経営者の高齢化により、廃業する企業が増え、中心市街地の商店街では、店舗が取り壊され空地・空店舗が増加し、危機的状況におかれている。新型コロナウイルス感染症の収束と経済の回復によって中小、小規模事業者が業績回復を実感できる経済対策を早急に講じる必要がある。</p>
11	<ul style="list-style-type: none"> ・個別事業支援相談会の開催（2回） ・各給付金等の申請支援等 <p>課題として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業・小規模事業者の事業承継や事業再編
12	<p>感染症対策について、広域による保健医療体制等の強化を図る。</p>
13	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナでの取り組みや課題 <p>中空知広域圏で、地域外から得られる収入とは何かと考えると、コロナで多大な影響がある業態を資金補助だけを考えるのではなく、地産地消も中心に考えるべきである。</p> <p>例えば、観光に於いては、埋もれた観光資源を掘り出す事とともに、自分の地域の良さ体験、満足する取り組みをする。</p> <p>また、収束までは数年かかるであろう現状を見据え、農業生産品目や加工産業のシフト変換により、雇用の維持を図るのも、一つの方法である、と思われます。</p> <p>収入があり、安心安全が補てんされてこそ、定住化の推進であると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●有害鳥獣について <p>農作物に対する被害は、減収傾向にはなく、鹿・アライグマに於いては学習能力があると思われる。</p> <p>普通の捕獲罠や、保護柵をも避けて農作物を食害している様な、行動も見える。</p> <p>捕獲頭数を増やすためには、資金の投入が必要であり、熊の出没傾向にある要因としては、住民の生活生ごみ等のえさとなるものが、大きな要因であろうと考える。</p> <p>そのためには、餌となるも安全な処理を地域に対しての、啓もう活動が最も必要である。お互いに生活圏を保っていきたい。</p>
14	<p>農業者・農業協同組合での影響は飲食業界、旅行・観光事業、業務上の国内移動等緊急事態宣言・外出自粛・時短営業等の影響でJAピンの主力農産物であるコメの需要に大きく影響が出た。</p> <p>巣ごもりによる家庭炊飯需要は伸びたものの、外食産業・宿泊施設での需要が大きく減少し全国の米の銘柄で価格下げ圧力が大きくなったことにより、生産者の今後の農業所得減に繋がる要素が大酒造好適米（日本酒の原料）の需要は宴会自粛、時短営業の影響で4割以上需要が減少する見込み～R3年産で生産量を減少させる必要がある。</p> <p>ワクチン、治療薬等が国民に行き渡り、経済がある程度回復するまで生命維持に必要なインフラ、食料の生産への支えが国としての責務と考える。</p> <p>全国的に雇用が減少している状況下において、新規採用に対し地方では、応募者確保に苦慮している状況は改善していない。地方の人材確保対策が継続して必要と考える。</p>
15	<p>小さな町であるが故、国や地方自治体さらには住民各位の支援や協力が有り、コロナ禍の影響を最小限に抑えてきたが、来年もこの状態が続くと、事業継続が困難となる事業所が頻出する可能性が高い。また、アフターコロナ下での起業や事業転換なども非常に厳しいものと予測できる。</p> <p>中空知圏域独自での対応は困難なことから、各首長及び議会から国に対する経済活性化への要請活動を強力に推し進めていただきたい。</p>
16	<p>コロナ禍で相談も減少傾向にあり、今年度9ヶ月で282件となっております。</p> <p>ただ、相談内容としては、インターネット関連が多く、内容も複雑多岐にわたり、特に業者とのトラブルにあっせんが必要となるケースが多くなっております。</p> <p>今年は赤平が委託となり、今後高齢者からの相談も多くなることでしょう。</p> <p>芦別からは、啓発のみ協力してほしいとの要望もある様に伺っており、相談員の対応も大変なことと思います。</p> <p>今後ますます社会が多様化する中で、相談内容も複雑になって来ることが考えられ、相談員の人材確保が急務と思われるので要望しておきます。</p>

委員	意見等
17	町内会活動は大きく制限され、ほとんどの事業が中止となっています。高齢者の安否確認も含め、心配な状況です。町内会々議の開催も賛否が有り、実施が難しいです。アフターコロナにおいて、人的交流が制限されると伴に、各戸配布物等も全て業者宅配にならざるをえないと思います。
18	<p>当連絡会議は、防災士と北海道地域防災マスターの集まりです。</p> <p>日頃からネットワークの構築及び情報交換などで会員同志が平常時より顔の見える関係づくりを第一に活動を行っている会で会員は39名です。</p> <p>特に、コロナ禍だからと言って当会として困っている状況はありません。</p> <p>会としては地域防災に役立つ知識の一つになればと先月、町の災害対策事務局の協力でコロナ禍の避難所運営はどう変わったのかと、新十津川町水害タイムラインの概要で、その時会員は何をすべきか?の研修を受け地域防災力の一助にと努めています。</p> <p>只、会員同志のコミュニケーションが取れない事や会員が地域や職場で地域防災の啓発活動をする機会が無くなっているのも現状としてあります。</p>